

呉医療センターにおける働き方改革について

A photograph of the Rikun Medical Center building, a large, modern, multi-story structure with a prominent glass facade and a central tower. The building is situated behind a landscaped area with a low wall and some trees. A road with a white arrow pointing left is visible in the foreground.

院長 繁田正信

2026/2/13 トップマネジメント研修

本日の内容

- ・ 当院の概要
- ・ 医師の働き方改革
- ・ ICTを活用した勤務環境改善
- ・ カスタマーハラスメント対策

本日の内容

- ・ 当院の概要
- ・ 医師の働き方改革
- ・ ICTを活用した勤務環境改善
- ・ カスタマーハラスメント

呉医療センター



明治22年（1889年）、呉海軍病院として創設。
戦後、英豪軍に接收。昭和31年国立呉病院、
昭和40年中国がんセンター併設。平成16年国立病院機構
呉医療センターに。（令和8年で創設137年）

理念と基本方針

➤ 理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します

➤ 基本方針

わかりやすい説明による安心・安全な医療を提供します

最新の知識と技術による質の高い医療を提供します

地域医療機関との連携を強化し、地域社会の発展に貢献します

高度な専門性をもつ医療人の育成に努めます

医療資源を適正に活用し、健全な経営を実践します

概要

■病床数: 645床(許可病床数)

2025年4月より許可病床数700床から645床へ

2025年4月より610床で運用(一般病床580床、精神病床30床)

■平均入院患者数: 501人(2025年10月1日)

■年間新入院患者数: 約13,000人

■外来患者数(一日平均): 870人(2025年10月1日)

■職員総数1,288人(2025年10月)

■医師: 186人、看護師: 640人、事務: 175人、その他: 287人

■臨床研究部

■附属看護師養成所: 1学年定員40名(2022年4月までは80名)

診療科

内科 内分泌・糖尿病内科 腎臓内科 血液内科 腫瘍内科 精神科
脳神経内科 呼吸器内科 内視鏡内科 消化器内科 循環器内科
小児科 外科 消化器外科 移植外科 乳腺外科 整形外科 形成外科
甲状腺外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科
皮膚科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
リハビリテーション科 放射線診断科 放射線腫瘍科 緩和ケア科 歯科
歯科口腔外科 病理診断科 救急科 リウマチ・膠原病内科 麻酔科
計39診療科

※下線の診療科は、2024年度より追加

病院情報

- 地域がん診療連携拠点病院
- がんゲノム医療連携病院
- 3次救命救急センター
- 災害拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 入院を要する小児救急医療機関
- 精神科救急医療システム支援病院
- エイズ治療拠点病院
- 地域医療支援病院

がん診療

- 化学療法センター

外来化学療法 30床

2025年5月から18床→30床に増床

がん化学療法看護認定看護師(2名)

- 緩和ケアセンター(10A病棟)

緩和ケア病床 19床(2000年より)

- リエゾン回診(2012年より)

精神科医師、うつ病看護認定看護師、心理療法士

がん診療

- 手術支援ロボットda Vinci Xiを1機導入
令和5年11月に納入、12月から始動
- 泌尿器科 2023年12月～
- 外科(上部) 2023年12月～
- 外科(下部) 2024年1月～
- 外科(膵臓) 2024年5月～
- 婦人科 2024年7月～
- 呼吸器外科 2024年7月～

令和7年のロボット手術件数は247件。



最新のIMRT放射線治療機器Radixactも2025/9に更新導入



Accuray株式会社より提供

成育医療



昭和60（1985）年 母子医療センター開設

平成11（1999）年 広島県地域周産期母子医療センター

平成20（2008）年 呉市における産科集約化

当院と中国労災病院の2施設に

令和8（2026）年4月 呉市の地域周産期母子医療センターは
当院のみに

現在の呉市およびその周辺地域の
抱える医療面での問題点

呉市

✓ 人口：199,481人

(令和7年3月末)

✓ 高齢化率：35.8%

(令和3年9月末)

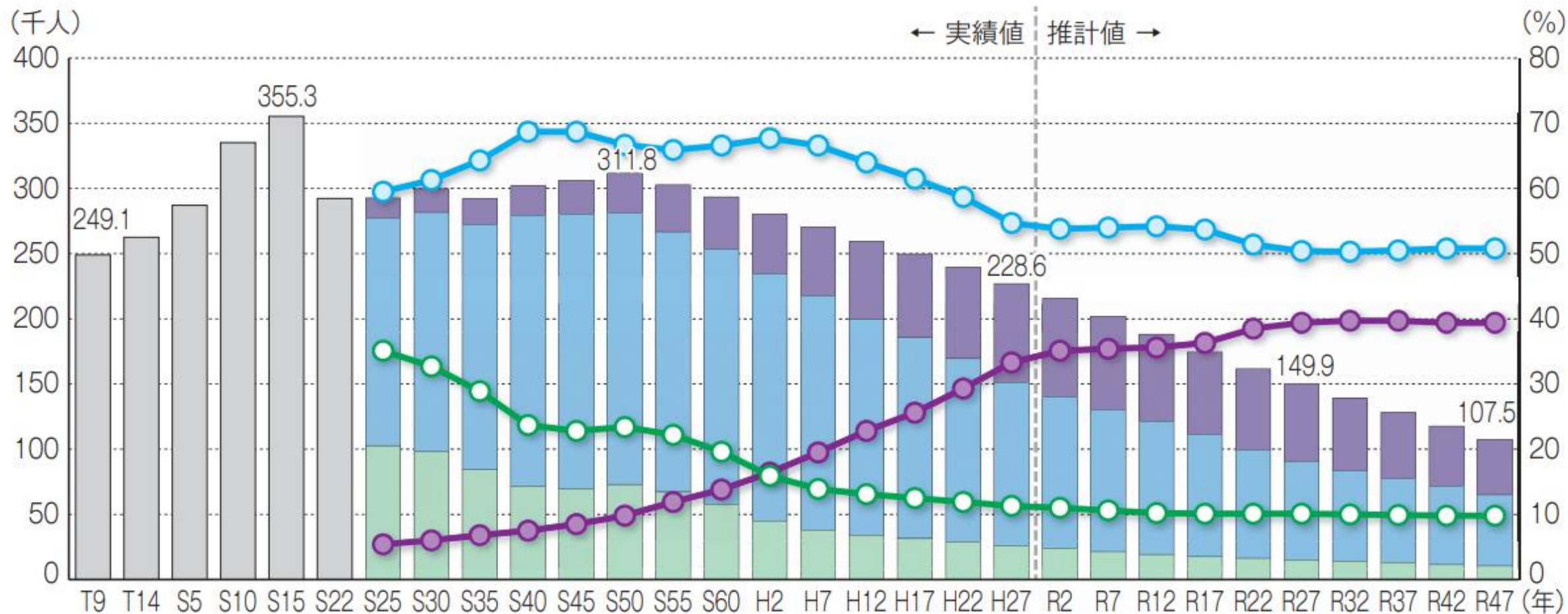
- 同規模人口の都市では、
全国第1位

呉市の医療は、
日本の10年先の高齢
化医療の先駆け



呉市の人口の推移

<https://www.city.kure.lg.jp/uploaded/attachment/58280.pdf>



年少人口

生産年齢人口

高齢人口

年少人口比率

生産年齢人口比率

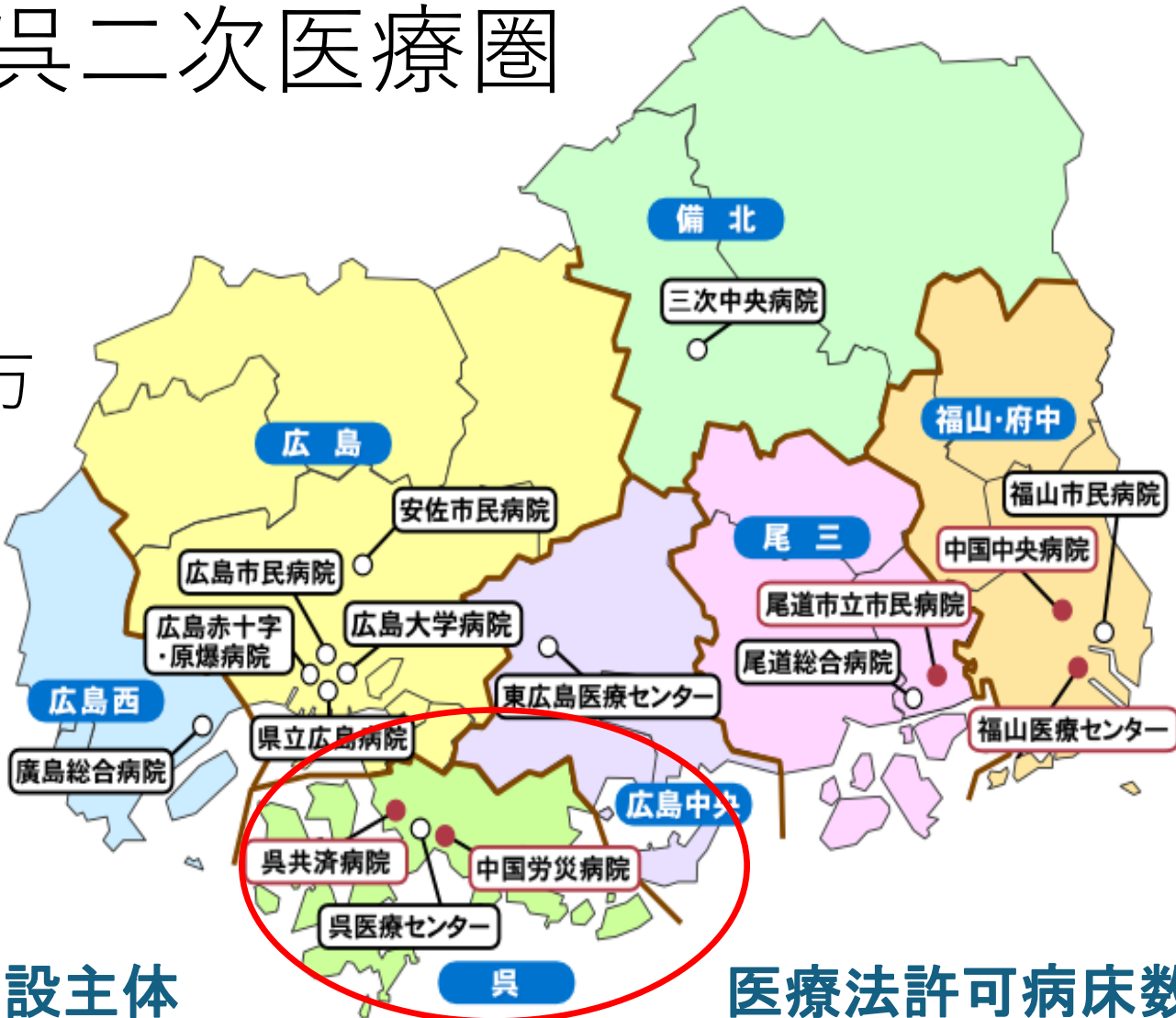
高齢人口比率

呉二次医療圏

広島県の人口・・・280.1万人

呉二次医療圏・・・23.7万人

※出展：国勢調査（2020年）



施設名	開設主体	医療法許可病床数
呉医療センター	国立病院機構	645床(一般595床、精神50床)
呉共済病院	国家公務員共済組合連合会	440床(一般394床、結核46床)
中国労災病院	労働者健康福祉機構	410床(一般410床)

呉市の全景（灰が峰より） と呉市の急性期病院

中国労災病院
(410床)

呉医療センター
(645床)

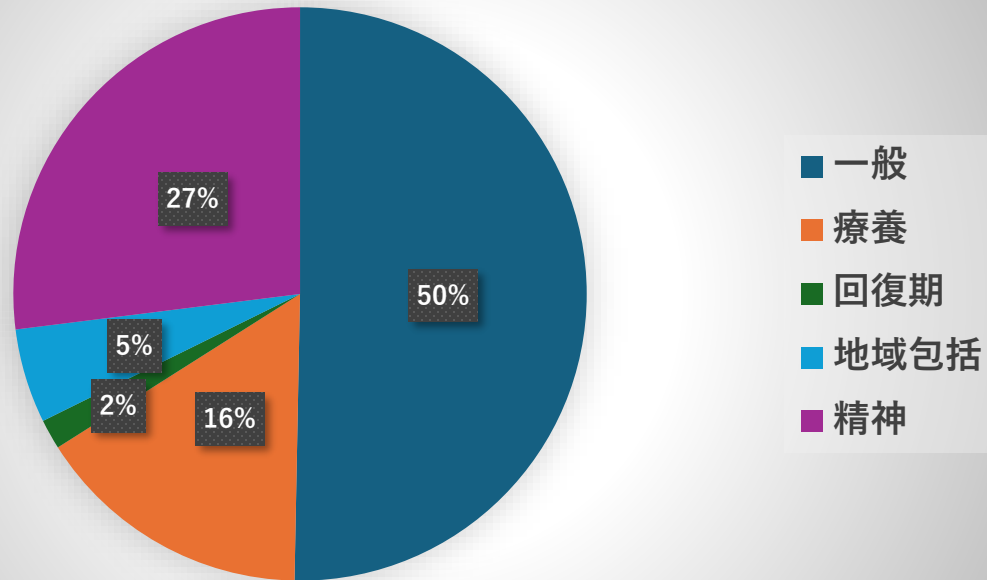
呉共済病院
(440床)



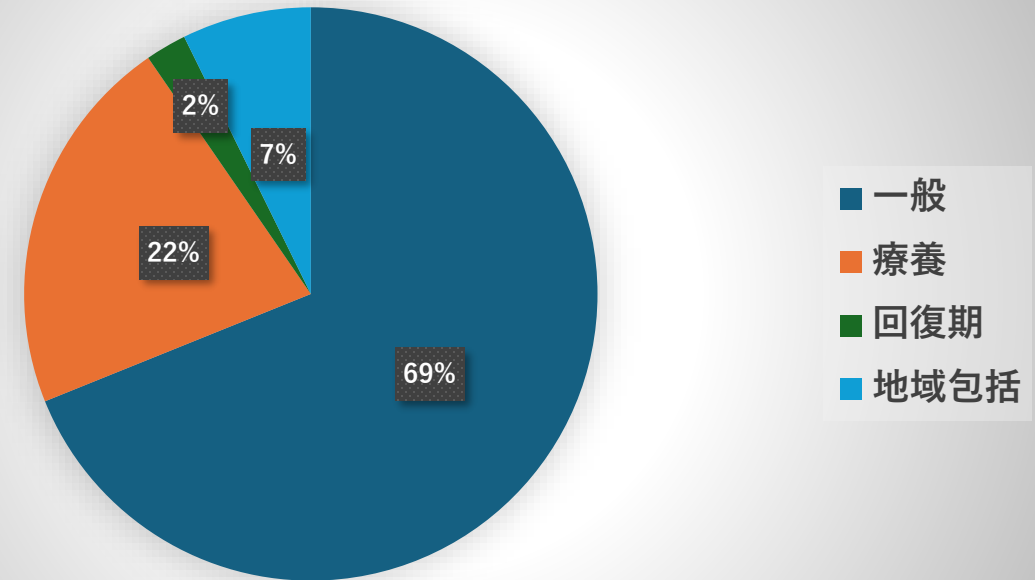
呉市の人口は約20万人。急性期医療は充実しているが・・・。

2022年 呉市の機能別病床数の割合

精神科病床を含む4737床



精神科病床を除く3459床



一般に比べ療養、回復期病床が少ない。
急性期を過ぎても引き取り手が少ない。

問題点

- ・ 少子高齢化が急速に進み人口も減少。
- ・ 急性期病院は充実しているが、後方支援病院が少ない。
- ・ 高齢者救急が増えると空床がなくなり救急ストップになる。
在院日数も長くなる。

本日の内容

- ・ 当院の概要
- ・ 医師の働き方改革
- ・ ICTを活用した勤務環境改善
- ・ カスタマーハラスメント対策

働き方改革

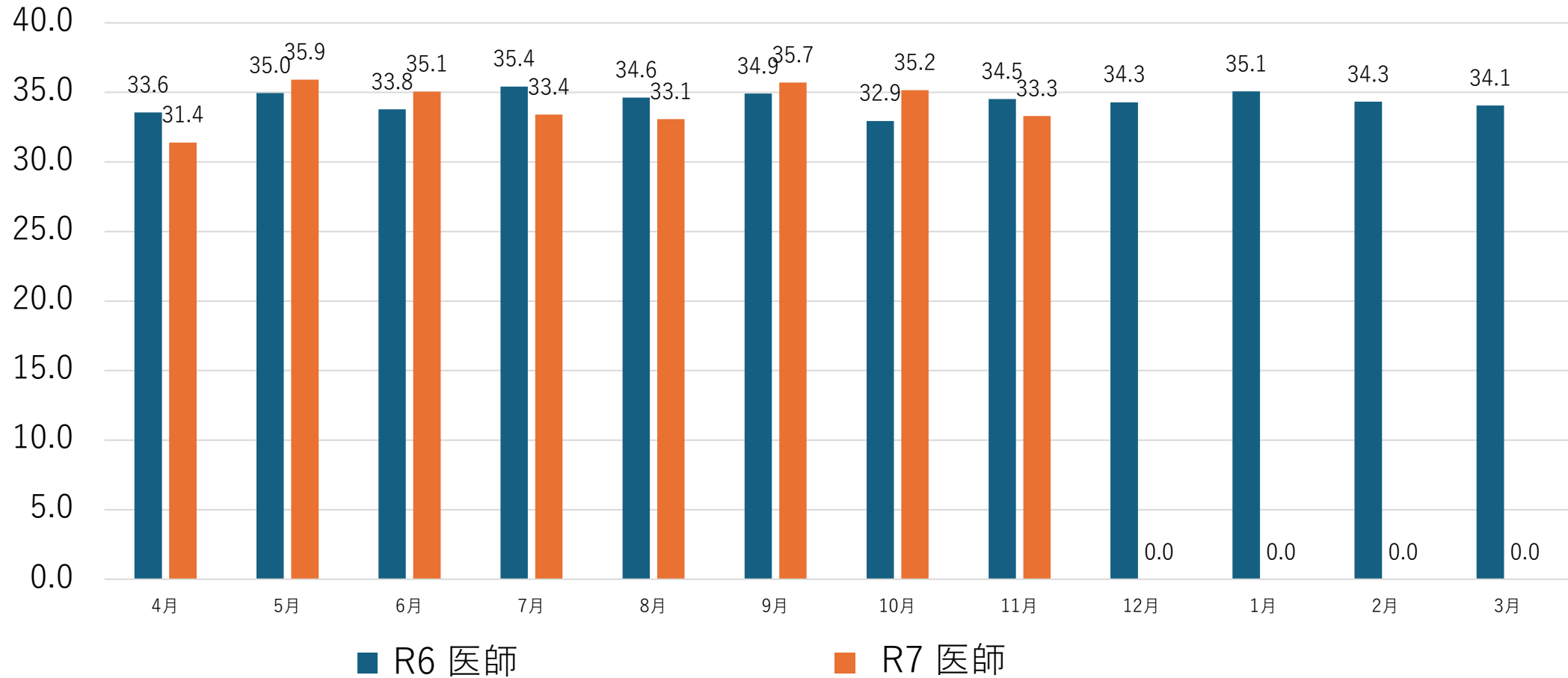
➤ タスクシフト

- 医師事務作業補助者: 56名(2025.4)
- 診療看護師(JNP): 2名(2025.4)
- 特定行為研修受講者: 4名[特定行為研修指定研修機関(2020.8.25)]

➤ 医師の働き方改革への対応

- 令和6年4月～令和9年3月
特定労務管理対象機関の指定
外科、整形外科、消化器内科、呼吸器内科の4診療科でB水準の指定

医師の超過勤務時間の月別推移（対前年度比）



SFC勤務時間管理システム
株式会社エスエフシー新潟

2025年11月超過勤務時間上位30医師

1	60	76	78	67	72	75	66	82	A
2	80	80	79	79	80	79	80	80	A
3	80	79	79	78	80	79	80	80	B
4	36	58	67	71	80	79	80	80	A
5	80	80	79	76	79	79	80	80	A
6	75	76	78	72	70	80	67	80	B
7	79	79	80	79	80	79	80	79	B
8	78	78	80	79	80	79	80	79	B
9	79	80	78	80	79	80	79	79	B
10	55	98	80	80	87	79	79	79	B
11	80	79	79	79	78	78	79	79	B
12	67	80	79	80	79	80	79	78	B
13	79	77	75	76	74	70	76	78	B
14	25	28	59	51	61	59	62	78	A
15	80	78	80	79	80	63	58	78	A
16	78	76	74	73	78	78	77	77	B
17	79	79	77	68	77	75	66	77	B
18	60	64	62	70	53	53	60	77	A
19	79	77	73	76	78	80	77	76	B
20	76	77	74	80	76	79	75	76	B
21	45	80	45	79	79	46	80	75	A
22	71	68	66	62	63	70	69	75	A
23	80	77	79	77	70	79	78	71	B
24	78	79	79	77	70	79	78	71	A
25	76	80	78	80	80	77	77	70	A
26	67	74	71	68	66	67	67	69	A
27	46	45	63	43	38	57	45	69	A
28	75	72	66	51	67	78	69	68	A
29	72	80	79	79	80	80	80	67	A
30	65	65	80	65	73	75	78	67	B

面接指導対象医師

対象年月	所属	役職	超過勤務
(R6)			
2024年4月	B	専攻医	89
2024年6月	B	医師	80
2024年7月	B	医師	89
2024年8月	B	医師	89
2024年11月	A	科長	82
2024年11月	B	専攻医	82
2024年12月	A	専攻医	83
(R7)			
2025年5月	B	医師	98
2025年8月	B	医師	87

同一医師

- ・今までのところ、月 1 0 0 時間以上の、
超過勤務者はいない。

- ・当院では月 8 0 時間を超える(> 8 0 時間)
超過勤務医師に対して、原則、面接実施指導
医の面談を行なっている。8 0 時間前後が
3 ヶ月連続している医師も対象となる。

長時間労働の傾向にある診療科を中心とした
医療機関の勤務環境改善に係る調査研究
及び支援事業

厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方推進室

対象を、消化器外科、内視鏡内科・
消化器内科の 2 科に限定。

いずれも B 水準。

消化器外科

- ・ 全体で 12 名
副院長 1 名、科長 1 名、医長 6 名、
スタッフ 3 名、専攻医 1 名（1日7時間勤務）
- ・ 80 時間を超える超過勤務者は 0 名。

問題点

- ・ 緊急手術時に待機時間が長くなる。
- ・ 手術患者の入れ替えや麻酔導入、覚醒のため、**手術室での待機時間が長い。**

改善策

- ・ 手術の斜め出しは現実的に難しい。
- ・ **手術室に電子カルテを多く置いて、他の作業を。**

内視鏡内科・消化器内科

- ・ 全体で 12 名
科長 2 名、医長 2 名、
スタッフ 4 名、専攻医 4 名（1日7時間勤務）

問題点

- ・ 90 時間を超える超過勤務者は複数名。専攻医は 0 名。
超過勤務の内容は、入院対応と救急対応が半分ずつ。

改善策

- ・ 当番制を敷き、それ以外の医師は原則、勤務しない。
- ・ カンファレンスの時間短縮（30 分以内）。

本日の内容

- ・ 当院の概要
- ・ 医師の働き方改革
- ・ ICTを活用した勤務環境改善
- ・ カスタマーハラスメント対策

ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的 取り組みを行うモデル医療機関調査支援事業

厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方推進室

1. 事業の目的

医師の働き方改革を推進するに当たって、労働時間の短縮等の医療機関における勤務環境改善のための取組を推進するためには、**ICT機器を活用した業務効率化の取組が重要**である。また、ICT機器を活用するに当たっては、システム間の連携や、円滑な業務移行のための院内調整及び相当の準備期間が必要となることから、関連機器等のパッケージでの導入を支援するとともに、円滑な導入プロセスの実施等のための助言と、プロセス分析を通じた好事例収集及び普及展開を行うことで、こうした取組の推進に繋がると考えられる。このため、本事業により、都道府県が医療勤務環境改善支援センターの年次活動計画において、勤務環境の改善に向けて特に重点的に支援する対象とした重点支援医療機関(以下、「重点支援医療機関」という。)をはじめとした、**ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的な取組を行うモデル医療機関を選定**し、関連機器等をパッケージで導入する際の経費等を支援するとともに、その導入プロセスや導入効果等について調査分析を行い、好事例としてとりまとめて普及展開することで、ICT機器を活用した勤務環境改善のための取組の更なる推進を図る。

2. 事業の実施主体

公募により選定された医療機関

3. 事業の期間

厚生労働省において事業の採択を決定した日から2026年3月31日まで

4. 補助金の交付

本事業に係る補助金の交付については、**50,000千円を基準額(上限額)**とする。また、上限額に関わらず、補助金の内容は、事業実施に必要なICT機器導入の購入費に限る。なお、勤怠管理システム等に関して、本事業の実施に必要であるとしてアップデート等の改修を実施した場合は改修経費に関しても購入費として取り扱う。

5. 申請医療機関

本事業の申請者(以下、「申請医療機関」という。)は、以下①～③のいずれかに該当し、本事業の実施後においても、都道府県等の助言・指導を受けながら、ICT機器の活用を含めた勤務環境改善に資する取組を継続する意思を有する、都道府県から**特定労務管理対象機関として指定された医療機関であること**。なお、本事業の申請年度において、地域医療介護総合確保基金における「勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」を活用してのICT機器の導入を検討している又は既に当該基金を活用してICT機器を導入している医療機関は申請対象から除くものとする

- ①医師労働時間短縮計画において外科等の長時間労働の傾向にある診療科を含めた複数診療科の勤務環境の改善を計画していること
- ②医師労働時間短縮計画において医師以外の医療関係職種も含めた勤務環境の改善を計画していること
- ③医師労働時間短縮計画において勤務環境の改善を計画しており、かつ電子カルテ情報共有サービスに接続している又は接続することを検討していること

(中国地区の特定労務管理対象機関 23病院)

山口(3病院)	島根(2病院)	広島(10病院)	鳥取(3病院)	岡山(5病院)
山口大学医学部附属病院	島根大学医学部附属病院	広島大学病院	鳥取大学医学部附属病院	岡山大学病院
徳山中央病院	島根県立中央病院	県立広島病院	鳥取県立中央病院	川崎医科大学附属病院
山口県立総合医療センター		広島市立広島市民病院	鳥取赤十字病院	川崎医科大学総合医療センター
		広島赤十字・原爆病院		岡山済生会総合病院
		安佐市民病院		岡山赤十字病院
		JA広島総合病院		
		呉医療センター		
		JA尾道総合病院		
		福山市民病院		
		市立三次中央病院		

6. 選定基準

令和6年度において、**年間の時間外・休日労働時間が960時間を超える業務に従事した全ての医師の時間外・休日労働時間の合計時間数が多い医療機関を優先して選定**する。

7. 申請方法等

- (1)企画書の作成及び提出「ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的取組を行うモデル医療機関調査支援事業企画書(以下、「企画書」という。)」を作成し、必要部数を以下の提出期間内に提出すること。企画書には公募要領に示されている評価の観点を盛り込んだ上、別に定める様式により企画書を作成すること。
- (2)申請方法提出期間及び提出先等は以下のとおり。
①提出期間2025年4月11日(金)～**2025年7月10日(木)**※消印有効

8. 交付要件

勤務医を含む医療従事者の負担軽減及び処遇の改善のため、以下の要件を満たすこと。なお、ICT機器の導入において、原則、ICT機器の種類及びメーカー等は問わないものとする(ただし、医療機器は本事業の対象から除く)。厚生省労働省勤務状況の把握とその改善の必要性の観点から、**以下①～⑬のICT機器について、1つ以上のICT機器を本事業の活用により導入することを検討している医療機関であること**。なお、申請年度において、**①のICT機器を導入していない医療機関においては①のICT機器の導入を必須とする**。また、以下の①～⑬に示したICT機器以外の導入に関して、勤務医を含む医療従事者の負担軽減及び勤務環境改善に資する場合において、本事業を活用しての以下の①～⑬以外のICT機器の導入を妨げるものではなく、その場合においても当該ICT機器に関して導入対象として取り扱うこととする(ただし、医療機器は本事業の対象から除く)。

以下、赤字が当社にてご提案可能なソリューション

- ①副業・兼業先の労働時間、勤務間インターバルに対応した勤怠管理システム
- ②電子カルテ等への音声入力システム
- ③院外からの電子カルテ閲覧システム
- ④ビジネスチャット等医療関係者間コミュニケーションアプリ
- ⑤患者向け動画説明
- ⑥手術室管理等情報の視覚化・構造化による管理システム
- ⑦外来診療WEB予約システム
- ⑧電子問診・AI問診システム
- ⑨同意取得の電子化
- ⑩AI文書作成システム
- ⑪日常業務等の自動化システム(RPA)
- ⑫ナースコール連動インカム
- ⑬**患者のリアルタイム情報が観測出来るスマートベッドシステム**
- ⑭ベッドサイド見守りカメラをはじめとした患者見守りシステム
- ⑮薬剤鑑別システム

※裏面に当社ソリューションの概要を記載

Q. ICT 機器導入、**翌年度以降のランニング費用**は対象となるか。

A. **対象外**となる。(翌年度以降のランニング費用は参考のためご記載下さい)

Q. 本事業の補助率は設定されているか。

A. 採択された場合の上限が 5,000 万円となり、**定額補助**となる。

今回、導入する機器

	導入ICT機器	サービス概要	対象	利用想定（効果）
1	医療文章作成支援システム	生成AIを用いて、診療記録等に記載された文章から退院サマリなどの医療文章の下書きを自動作成。	医師 医師事務作業補助者	・夜間に退院サマリーの下書きが作成され、医師・医師事務作業補助者が確認、修正、加筆し、医師が承認する（時間・労力の削減）。
2	電子カルテ音声入力システム	音声記録（AI音声認識「AmiVoice」）を患者に紐づけてテキスト記録として保存。	リハビリ、薬剤部	・リハビリ実施後にリアルタイム記録を行い、効率的なリハビリの実施（実施単位の増、恒常的時間外勤務の削減）。 ・薬剤管理指導、病棟常駐業務でのカルテ記載について、現場の端末等を気にせず記録を残すことが可能。
3	電子カルテモバイル閲覧システム	スマホ・タブレットにより電子カルテシステムのデータ参照（画像参照可能）。 ※音声入力システム連携	リハビリ、薬剤部	・リハビリ診療開始前の情報収集し、音声入力と連携して、リハビリ実施後にリアルタイム記録を行い、効率的なリハビリの実施（実施単位の増、恒常的時間外勤務の削減）。 ・薬剤管理指導、病棟常駐業務におけるカルテ記載には、検査データや多職種の記載などより情報を入手する部分も多くあるため、確認作業の軽減。

今後は、年々、過重になって来ている
看護業務の軽減に向けて、ICTを活用
して行きたい。

例えば、看護サマリー、身体拘束評価・・・。

本日の内容

- ・ 当院の概要
- ・ 医師の働き方改革
- ・ ICTを活用した勤務環境改善
- ・ カスタマーハラスメント対策

NHO共通のカスタマー・ハラスメント対策用ポスター

STOP カスタマー・ハラスメント

～カスタマー・ハラスメント相談窓口を設置しました～

カスタマー・ハラスメントとは？

患者又はその家族等からの言動のうち、当該言動の要求の内容の妥当性に照らして、当該要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当なものであって、当該手段・態様により、職員及び関係者に精神的・身体的苦痛を与え、勤務環境が害される言動をいいます。

例えば

- ◆ 長時間にわたり、患者・家族等が職員を拘束する。居座りをする。電話を続ける。
- ◆ 理不尽な要望について、繰り返し電話で問い合わせをする、又は面会を求めてくる。
- ◆ 「馬鹿」といった侮辱的発言、人格の否定や名誉を棄損する発言をする。
- ◆ 殴る、蹴る、たたく、物を投げつける、わざとぶつかってくる等の行為を行う。
- ◆ 「殺されたいのか」といった脅迫的な発言をする、反社会的勢力との繋がりをほめかす。
- ◆ 「SNSにあげる、口コミで悪く評価する」などと病院のイメージを下げるような脅しをかける。
- ◆ 正当な理由なく、文書等での謝罪や土下座を強要する。
- ◆ インターネット上に名誉を毀損する、又はプライバシーを侵害する情報を掲載する。
- ◆ 職員の身体に触る、待ち伏せする、つきまとう等の性的な行為を行う。

上記は一例です。カスタマー・ハラスメントに当てはまるかどうか迷う場合もご相談ください。

○カスタマー・ハラスメント相談窓口はこちら

- 当院のカスタマー・ハラスメント相談窓口（部署）事務部管理課、看護事務室
（相談員）副院長、産業医、副看護部長、教育研修担当部長、薬剤部長、教育主事、
管理課長、庶務班長 ※相談員のうち、関連部署以外の複数名が対応
- 中国四国グループのハラスメント相談窓口
メールアドレス： 700-chushiharassment@mail.hosp.go.jp
- 機構本部のハラスメント相談窓口
メールアドレス： 700-honbuharassment@mail.hosp.go.jp
- ハラスメントに関する外部相談窓口
（相談員）紀尾井町法律事務所 中澤康介 弁護士
メールアドレス： gaibu-harassment@kioicho-law.jp



* 緊急時には

病院毎の対応フローを記載する。（例：暴力ふるっている、凶器を所持している場合は、目撃者は速やかに代表（内線：0番）へ連絡してください。）

当院の対策

- ・ 医療安全チームを中心としたハラスメント情報の共有。
（月一金曜日毎日、ただし土日、祝日を除く）
- ・ ERへの監視カメラ設置(2014年～)。
- ・ 警備員を警察OBから採用。警察への通報が少し容易に。

令和7年度のハラスメント研修

1、ハラスメント相談員研修 (R7.7.3)

対象：ハラスメント相談員

2、メンタルハラスメント研修 (R7.11.13)

対象：全職員

3、医療現場のハラスメントとその対応 (R8.1.29)

対象：全職員

R7年度の警察介入事例

- 1、器物破損、業務妨害で強制退院。以後受診なし。
- 2、財布の紛失（実際は家に忘れていた）。
- 3、クレームで長時間の居座り。以後、受診なし。
- 4、患者家族による暴力行為。院内立ち入り禁止。
- 5、飲酒後の迷惑行為。警官への暴力行為もあり連行。

- ・ もちろん、警察介入には至らないまでも、月1－2件のカスハラが発生している。しつこいクレーム、看護師に対するセクハラで強制退院など・・・。
- ・ 医療行為上の不具合とハラスメントは別。
- ・ 個人で対応せず、組織として強く対応していく姿勢を常にアピールしている。

まとめ

- ・ その地域に合った地域医療構想を実現させる。
急性期、慢性期のバランスが大事。
- ・ 今後の少子高齢化を考えると、超過勤務の減少は、
ICTの導入無くして不可能。
- ・ 職員の作業環境を良くするためにもカスハラ対策
は重要。



国立病院

自転車を除く

歩車分離式

ご清聴、ありがとうございました。

呉医療センター
中核がんセンター
診療案内
呉医療センター入口

通行禁止

呉海軍病院跡
元海軍軍医少将 金井 泉吉